

## 相馬原で対象者がCH-47の体験搭乗 ～初めての搭乗で「いい経験ができました」～

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原一陸尉）は、1月16日（土）令和元年度相馬原駐屯地見学会に当事務所から4名の対象者を案内した。

当日は秋晴れの天候に恵まれ、現地に到着するとまず駐屯地資料館で全般説明があり、飛行場に移動し格納庫内で安全教育を受けたあと、グループごとに分かれてCH-47に搭乗した。体験搭乗を終えた対象者からは「初めて乗るヘリコプターだったので不安だったが、いつ離陸したかわからないくらい揺れも少なく良い経験ができました」という感想が聞けた。その後はヘリによる空中消火用バスケットや整備工場を見学したのち、隊員食堂で体験喫食となった。参加者から「美味しかった」と感想があり、皆満足そうにしていた。最後に隊員の皆さんの見送りを受けて駐屯地を後にした。

横浜中央募集案内所は、「今後も合格者を多く入隊に導けるよう、このよつなつなぎ広報に積極的に参加して、募集成果につないでいきたい」としている。



体験喫食中の参加者



CH-47の前で記念撮影

## えびな市民まつりで自衛隊をPR

神奈川地本厚木募集案内所（所長 野田三海佐）は11月17日（日）、海老名市で開催された「えびな市民まつり」において厚木管内自衛官募集相談員会、隊友会厚木支部及び家族会海老名・綾瀬地区会の各会員の協力を得て、自衛隊をPRした。

当日は、秋らしく天高く晴れ渡った空のもと、海老名市最大のイベントということもあり、会場には約15万人もの来場者が詰めかけイベントは大いに賑わった。

自衛隊ブースでは、第4施設群の中型トラックを展示するとともに、ミニ迷彩服試着コーナーを開設した。各会員が子供たちの試着を手伝い、迷彩服を試着し記念撮影をした子供には、海上自衛隊装備品の写真や厚木募集案内所がオリジナルに作成した記念缶バッジなどがプレゼントされるとあって、開始時間前から多くの希望者が長蛇の列を作り盛況であった。

台風19号による災害派遣活動や装備品を紹介したパネルを見た来場者からは「入浴支援や食事の炊き出しなど、自衛隊の支援活動を詳しく知ることができました」「自衛隊にしかない装備品が多くあり、とても興味が湧きました」などの感想を聞くことができた。厚木募集案内所は、「今後も地域のイベントを通じて自衛隊の活動や魅力を積極的にPRし、募集広報や防衛基盤の拡充に努めていく」としている。



記念撮影をする来場者（海老名運動公園）